



第86期報告書

自:2018年4月1日 / 至:2019年3月31日

0テレホールディングス



株主の皆様へ

株主の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社はこのたび代表取締役会長に大久保好男、代表取締役社長に小杉善信が就任する新しい経営体制を決定致しました。新時代 令和の幕開けに、気持ちを引き締め臨んでまいります。

当社グループの日本テレビ放送網は、2018年度の世帯視聴率も堅調で、全日・ゴールデン・プライム帯で、5年連続となる視聴率三冠王を獲得いたしました。「第95回箱根駅伝」では、往路・復路平均31.4%という歴代最高の視聴率を獲得し、日曜ドラマ枠の「今日から俺は!!」「3年A組—今から皆さんは、人質です—」は、インターネットでも話題となり、若年層を中心に圧倒的な支持を得ました。

動画配信事業の柱となるHuluは順調に会員数を伸ばし、今年春には有料会員数200万人の大台を突破しました。スポーツ中継等の広告付きライブ動画配信への取り組みも強化する予定です。当社は引き続き放送にとどまらないメディア展開を図る方針です。

イベントでは、開局65年記念「ルーヴル美術館展」が、東京と大阪で67万人が来館し、舞台「魔界転生」が10万人の観客を記録しました。

視聴率やイベントの好調を背景に、当社グループの連結会計年度における売上高は、過去最高を更新する4,249億円と

なり、放送収入は在京局で5年連続シェア1位となりました。

当社グループの更なる成長、発展のため、5月に新しい中期経営計画「日テレ eVOLUTION」を発表しました。インターネット領域をビジネスの柱に成長させるとともに、新規事業等への投資枠を1,000億円に倍増し、様々なメディア・事業展開をさらに進めてまいります。

なお、当社は積極的な事業展開のための内部留保との調和を図りながら、継続的で安定した株主還元を行うことを基本方針としております。当期の配当に関しては年間配当金35円とし、すでに実施済みの中間配当10円を差し引いた25円を期末配当とさせていただきます。

今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年(令和元年)6月



日本テレビホールディングス株式会社

代表取締役 会長 大久保 好男

代表取締役 社長 小杉 善信

CONTENTS 目次

株主の皆様へ	01
三冠王達成	02
報道・スポーツ・イベント	03
映画・海外事業・ICT	05
中期経営計画	07

技術・CSR	10
営業の概況・連結財務諸表	11
ティップネス・ライフマーケティング	13
株主様ご招待 みんなのミュシャ	14

5年連続年度三冠王達成!!

視聴率データは関東地区・ビデオサーチ調べ

2018年度の日本テレビ世帯視聴率は堅調に推移し、全日帯(7.8%)、ゴールデン帯(11.9%)、プライム帯(11.5%)でトップとなり、5年連続の三冠王を達成しました。また全日帯のトップは8年連続、2015年から重点ゾーンとした23時から25時(プラチナゾーン)の時間帯視聴率も6.5%で4年連続トップを記録。日本テレビネットワーク全体でも、昨年同様の24局が年度三冠王を獲得しました。

日テレ
年度
視聴率

全日
6:00~24:00

7.8%

ゴールデン
19:00~22:00

11.9%

プライム
19:00~23:00

11.5%

全日帯トップは8年連続!

各番組の状況では、民放プライム帯レギュラーバラエティー番組では、2018年度も「世界の果てまでイッテQ!」が1位を獲得! さらにトップ20のうち15番組が日テレとなりました。その中でも火曜よる9時「ザ!世界仰天ニュース」の年度平均12.8%、土曜よる9時「嵐にしやがれ」の年度平均12.6%は枠移動後最高を記録。また「沸騰ワード10」は2017年度に続き記録を更新し、年度平均11.4%となりました。

また、お正月の風物詩で33回目の生放送となる「第95回箱根駅伝」は、往路、復路、往路・復路平均、全てで歴代1位の視聴率を獲得!(往路・復路平均31.4%)今秋のラグビーW杯、来年の東京オリンピック・パラリンピックと、日本がスポーツで盛り上がりを見せる中、テレビの可能性を大きく感じさせる年明けとなりました。

2015年4月からスタートした日曜ドラマ枠も好調。10月期「今日から俺は!!」、1月期「3年A組ー今から皆さんは、人質ですー」と2作続いてSNS等で大きな話題となり社会現象になるなど若年層を中心に圧倒的な支持を得ました。「3年A組」の最終回視聴率は15.4%となり、日曜ドラマ最終回の歴代最高視聴率を記録しました。



「今日から俺は!!」2018年10月14日~12月16日放送



「3年A組ー今から皆さんは、人質ですー」

2019年1月6日~3月10日放送

報道

news every.は今春、放送10年目!



news
every.

「news every.」

毎週月曜～金曜日 1部15:50～
2部16:50～、3部17:53～19:00放送

2010年3月に始まった「news every.」、2018年度の視聴率は、世帯視聴率は10.1%で歴代2位(歴代トップと0.1ポイント差)、占拠率は20.2%で歴代2位。個人視聴率は5.4%で歴代トップタイ、占拠率は20.9%で歴代単独トップ。いずれも非常に高い数字を維持し、好調に推移しています。

常に「今起きていることを今伝える」の精神で、突発事案に対し迅速な中継や取材、視聴者映像の確保をし、藤井貴彦キャスターの安定感ある実況や分かりやすいVTR・スタジオ解説を追求して視聴者のニーズに応えました。その結果、昨年の台風21号襲来や北海道地震では他局を圧倒、視聴者のファーストチョイスとなりました。

また、東日本大震災から8年の今年3月11日には、藤井・陣内両キャスターが福島県大熊町から他局より長い2時間の生中継。熊本地震、西日本豪雨でも節目節目で放送を重ね、被災地に寄り添い続けています。

スポーツ

ラグビーワールドカップ2019日本大会
9月20日開幕!

ラグビーワールドカップ2019日本大会の開幕まであと3か月。日本テレビ系地上波では19試合を完全生中継します! 今回のラグビーワールドカップの放送時間は試合中継だけで50時間超。日本テレビの中継番組としては過去最大級です。前回大会、ワールドカップ史上最高の瞬間にも選ばれた南アフリカから日本があげた大金星。あの感動から4年。大注目のラグビーワールドカップ2019日本大会は9月20日(金)東京スタジアムで開幕! 全国12都市、7週間にわたる熱き戦いが、まもなく始まります。



ロイター/アフロ

イベント 記念すべき年に話題のイベント続々登場!

開局65年記念事業「ルーヴル美術館展」、 東京・大阪67万人が来館!

日本テレビが主催する「ルーヴル美術館展」の第5弾。今回は“肖像”をテーマに、選りすぐりの絵画や彫刻が一堂に会しました。「日本テレビ ルーヴル美術館 20年プロジェクト」の第1弾でもある本展は、東京・大阪で67万人を超える来館者数を記録。大好評のうちに閉幕しました。



「ルーヴル美術館展」
2018年5月30日～9月3日 国立新美術館
2018年9月22日～2019年1月14日
大阪市立美術館

開局65年記念舞台「魔界転生」、 日本テレビ製作の舞台として最高益を記録!

アクションとカルトに富んだ上川隆也主演のスペクタクル時代劇! 博多座・明治座・梅田芸術劇場で計77ステージ上演し、計10万人の観客を記録。日本テレビ舞台の過去最高益を達成し、平成最後の秋の演劇界を席卷しました!



「魔界転生」
2018年10月6日～12月14日
博多座(福岡)・明治座(東京)
梅田芸術劇場(大阪)

「namie amuro Final Space」 今期イベント最高益達成!

2018年9月16日に引退した安室奈美恵さんの軌跡を辿る展覧会を東京・大阪・福岡・沖縄で同時開催し、57万人が来場。衣装やファイナルツアーのセットなどを展示し、ファンの心に残る“最後の空間”となり、本イベントは、今期の日本テレビイベントとして最高益を達成しました。



「namie amuro Final Space」
2018年7月26日～9月16日
渋谷ヒカリエほか

「世界一受けたい授業 THE LIVE 恐竜に会える夏!」 初めてのアリーナショーを開催!

日本テレビ系の人気番組「世界一受けたい授業」のアリーナショー。芦田愛菜さん主演で、リアルな実物大の恐竜が登場、学んで楽しめるショーとして人気を博し、さいたま・横浜・名古屋・大阪・福岡で上演し、観客18万人を記録しました。



「世界一受けたい授業 THE LIVE 恐竜に会える夏!」
2018年7月21日～22日 横浜アリーナ、
8月11日～12日 さいたまスーパーアリーナほか

映画 国際的にも高い評価を獲得!

細田守監督「未来のミライ」が興行収入28.8億円の大ヒットを記録。日本アカデミー賞・最優秀アニメーション作品賞受賞、米アニー賞・長編インディペンデント作品賞受賞、米ゴールデン・グローブ賞・最優秀アニメーション映画賞ノミネート、米アカデミー賞・長編アニメーション映画賞ノミネートと、国内外で高い評価を得ました。また、「名探偵コナンゼロの執行人」が7年連続でシリーズ歴代最高興行収入を更新。福田雄一監督作「50回目のファーストキス」、前田哲監督作「こんな夜更けにバナナかよ」、堤幸彦監督作「十二人の死にたい子どもたち」がスマッシュヒットとなりました。



「未来のミライ」
2018年7月20日公開
©2018 スタジオ地図



「十二人の死にたい子どもたち」
2019年1月25日公開
©2019「十二人の死にたい子どもたち」製作委員会

海外事業 ドラマリメイク!トルコでの成功をきっかけに続々世界へ



タイ版「明日、ママがいない」より

日テレドラマの海外への「リメイクセールス」が引き続き好調です。ドラマ大国トルコでは「Mother」に続き、「Woman」がメガヒットを放ち、日本では11話のオリジナル版がトルコでは62話へと拡大。メキシコ、クロアチア、北アフリカ、中東など25の国や地域でも放送が決定し、この秋さらにシーズン3の制作も見込まれています。

この成功を機に世界各地から日テレドラマへの関心が高まり、「Mother」「Woman」をはじめ、「あいのうた」「明日、ママがいない」「奥様は、取り扱い注意」や「家売るオンナ」など多くの作品がリメイクされることになり、現地版の制作準備がウクライナ、フランス、タイ、韓国や中国などで鋭意進められています。

Hulu

会員数200万人突破!

日曜ドラマ「今日から俺は!!」「3年A組 -今から皆さんは、人質です-」ではHuluオリジナルストーリーやSNS施策などを展開。中でも「3年A組」は、Hulu史上最高の週間視聴数を記録し、新規顧客獲得にも繋がりました。またMLB開幕シリーズ「マリナーズ×アスレチックス」をリアルタイム配信。イチロー選手ほか注目選手専門のカメラを設置、野球中継では初となるマルチアングルにも取り組みました。



「3年A組 -今から皆さんは、人質です-」



「今日から俺は!!」

新規事業

「mixta」(ミクスタ)事業スタート!

日本テレビが持つ最先端の拡張現実テクノロジーを活かしたMR事業「mixta」が誕生しました。サービスは「mixta AR」と「mixta Shot」の2つ。「mixta AR」はアプリプラットフォームでスマートフォンの画面をかざすと、タレントや商品などが現実空間にリアルに現れます。「mixta Shot」は憧れのタレントやスポーツ選手などと一緒に撮影ができるAR撮影ユニット。撮影した写真や動画を自分のスマートフォンにダウンロードして、SNS上にシェアすることもできます。これらを用いて次世代型広告やBtoCの課金収益を拡大させていきます。



広告付き無料配信

箱根駅伝、高校サッカーなど大型スポーツコンテンツのライブ配信を推進。「テレビバ」チャンネル登録者数は順調に伸びています。オリジナルコンテンツも拡大中です。

「中期経営計画 2019-2021 日テレ eVOLUTION」

前「中期経営計画」「中期経営計画2016-2018 Change 65」に掲げた最終年度の売上高、営業利益、経常利益の目標数値については、経常利益率(13.5%)以外はいずれも計画値に届きませんでした。

「テレビを超える」当社グループのコアコンピタンスはコンテンツ制作力であり、これに一層の磨きをかけ、引き続きテレビ広告市場でシェアトップを目指しますが、今後のテレビ広告市場を考えると、大きな成長は望めないと考えております。そこで「テレビを超える」を新しい中期経営計画のテーマとしました。地上波で培ったコンテンツ制作力を「テレビという枠」を超えて発揮し、リアルなイベント、通販事業や教育事業、生活・健康事業なども含めた、幅広いコンテンツ・サービスを提供し、生活者の「生活時間接触No.1」を目指す「総合コンテンツ企業」としての進化をこれまで以上に推し進めることで、業績を成長させることを目標とします。

新たな目標を 当社グループは、2019年5月、新たな目標として、2019年度から2021年度を計画期間とする「中期経営計画 2019-2021 日テレ eVOLUTION」を発表しました。その概要は次のとおりです。

2019-2021 中期経営目標

(1) 日本テレビグループとしての社会的責任を果たし、更に「信頼性」を向上させる

- 全てのステークホルダーから「信頼」されるコンテンツやサービスを提供する
- 公平・公正さを保ち、迅速・正確な情報を発信する
- それぞれの事業活動・リソースを通じ「豊かな時」を提供し、社会や文化の創造に貢献する

(2) 総合コンテンツ企業として、放送・関連ビジネスを進化させ、「収益性」「生産性」を飛躍的に向上させる

- 「最強のコンテンツ制作集団」であり続ける
- 放送ビジネスの進化と新戦略の策定
新指標制定、セールス改革、ローコストコンテンツの開発等
- 新技術[AI(人工知能)や5G(第5世代移動通信システム)等]の活用とデータに基づくマーケティング等による「収益性」「生産性」の向上
- アニメ・映画事業など既存ビジネススキームの抜本的見直しと、知的財産権ビジネスの積極的推進
- 海外市場での売上拡大へ向け、全社的な取り組みの強化

(3) インターネット領域をビジネスの「柱」に成長させる

- 放送波全番組の配信対応実現とネット向けコンテンツ生産体制の構築
- グループをまたがるDMP(顧客情報システム)を完成させ、生活者と直接繋がったサービス・ビジネス基盤を構築する
- Hulu、無料広告動画配信事業の売上を飛躍的に向上させる
- 5G(第5世代移動通信システム)を活用した新サービス・コンテンツの開発とビジネス化
- 若年層に向けた新たなインターネットサービスを開発する
- 全てがインターネットで繋がるIoT社会を踏まえ、コンテンツ・サービスのインターネット対応を拡大させる



「日テレHR」
HR(人材育成&採用)で新たなサービスを始動



「独自開発したアクティブラーニング教材」
「みんなのドラマ」で授業中の筑波大学附属中学校



「VTuber」
ヤッターマンがVTuberになりました!

(4) 起業・M&A・アライアンスを推進し、非放送広告収入比率50%超を目指す

- グループ全体での新規事業企画募集による起業の積極的推進と全社的サポート体制の確立
- 投資枠を1,000億円に倍増し、M&A等による事業セグメントの拡大をグループ全体で進める
- 業種・国境を越えた「聖域なきアライアンス」の推進
- 生活・健康領域の「規模の倍加」と不動産事業、教育事業の拡大
- グループ外からの収入比率を高める

(5) 意識・組織・常識の改革

- 成長のエンジンとなる「人材」の育成と確保
- 放送に留まらず、様々なメディア・サービスに向けたコンテンツ制作が可能となる体制・ルールの確立
- 全ての業務プロセスを全社的に見直し、従来業務にかかる人的、物的リソースを8割程度に抑え、成長分野にリソースを振り向ける
- 既存の組織、制度をゼロベースで見直し、環境の変化を先取した「未来に繋がる組織・制度」に変革する
- 「前例踏襲撲滅」「AI(人工知能)等の新技術の導入」により、業務の軽量化・迅速化を図り、働き方改革を進める

2019-2021 中期経営目標数値

	実績	目標値	新規M&A分 加算目標値
	(単位:億円)	2018年度	2021年度
連結売上高	4,249	4,500	5,000
地上波広告収入	2,559	2,640	2,640
メディア・コンテンツ事業収入他	1,642	1,860	1,860
新規M&A	48	-	500
連結営業利益	497	520	540
連結営業利益率(%)	11.7%	11.6%	10.8%
連結経常利益	573	590	620
連結経常利益率(%)	13.5%	13.1%	12.4%

財務方針

- 3年間の新規事業およびM&A推進のための投資枠 500億円→1,000億円に倍増
- 3年間の設備投資金額 482億円(予算ベース)
- 重要な経営指標 売上高営業利益率および売上高経常利益率
- 安定的・継続的な配当支払い



「eスポーツ」
日テレ傘下のプロeスポーツチーム「AXIZ(アクシズ)」の選手達



メディアミックスプロジェクト「ザンビ」
乃木坂46・欅坂46・日向坂46が出演。舞台、ドラマに続き
5月にスタートしたゲームが早くも110万DLを突破!



映画「ドラゴンクエスト ユア・ストーリー」
山崎貴総監督・脚本で国民的RPGがついに映画化!
8月2日(金)公開

技術 箱根駅伝中継でAIが大活躍!

「第95回箱根駅伝」中継において、選手を高精度に識別出来る画像認識AIを独自に開発。順位が入り乱れる駅伝レースでラップタイムを自動的に生成するシステムも構築しました。その結果、インターネットで同時配信される中継映像に大学名と選手名を自動でスーパー表示することが可能になりました。制作スタッフがレース展開を瞬時に把握出来るよう制作支援も行い、現場の業務効率化にも大きく貢献しました。この高度な制作技術は業界内でも高い評価を受け、民放連盟賞技術部門最優秀をはじめ社外表彰を4件受賞しました。



画像認識AI技術を用い、選手間の推定距離を自動で算出することで新しいCG表現を行いました。

CSR 情報リテラシー啓発と被災地支援



メディアリテラシーの出張授業「情報の海の泳ぎ方」は、活動エリアを関西までに広げて15回開催。読売新聞社とのコラボなどニーズに応じたアレンジを加えて、インターネット時代に「正しい情報をどう見極めるか」というテーマで参加者と一緒に考える取り組みを行っています。

また、被災地支援の活動として西日本豪雨の被災地で、10年以上の実績を誇る「日テレ体験教室」(技術スタッフがテレビ中継や編集の仕組みについて実演を交えて見せる出張授業)や、日本テレビとネット局のアナウンサーやキャスターが日本語をテーマにしたワークショップを行う「よみひと知らず」を実施。メディア企業としての社会貢献を引き続き行っています。

「南海放送×日テレ体験教室」2018年11月愛媛・大洲市にて

営業の概況

2018年度連結決算について

- ✓売上高は、地上波テレビ広告収入の増収や、動画配信事業拡大によるコンテンツ販売収入の増収、スキルアップ・ビデオテクノロジーズ連結子会社化の影響等により増収。
- ✓営業利益は、減価償却費の増加等により減益。
- ✓経常利益は、持分法による投資利益の減少等により減益。
- ✓当期純利益は、投資有価証券売却益等があり増益。

当社グループの連結売上高

4,249億4千5百万円(前年同期比+0.3%)

●メディア・コンテンツ事業

3,817億1千3百万円(+0.4%)

●生活・健康関連事業

377億8千4百万円(△0.3%)

●不動産賃貸事業

102億6千8百万円(+3.5%)

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含む。

売上原価と販売費及び一般管理費を合わせた営業費用

3,751億9千5百万円(+0.7%)

営業利益…497億4千9百万円(△2.4%)

経常利益…573億9千8百万円(△6.3%)

親会社株式に帰属する当期純利益

…387億3千9百万円(+3.5%)

詳細は当社ホームページをご覧ください。

日本テレビホールディングスIR

検索

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

単位:百万円

科目	期別	前 期 末	当 期 末
		2018年3月31日現在	2019年3月31日現在
【資産の部】	流動資産	258,036	235,747
	固定資産	627,062	705,747
	有形固定資産	264,463	274,393
	無形固定資産	31,290	29,957
	投資その他の資産	331,308	401,396
	資産合計	885,098	941,494
【負債の部】	流動負債	94,621	100,747
	固定負債	85,557	93,756
	負債合計	180,179	194,504
【純資産の部】	株主資本	608,464	647,676
	その他の包括利益累計額	82,127	93,481
	非支配株主持分	14,326	5,831
	純資産合計	704,919	746,989
	負債純資産合計	885,098	941,494

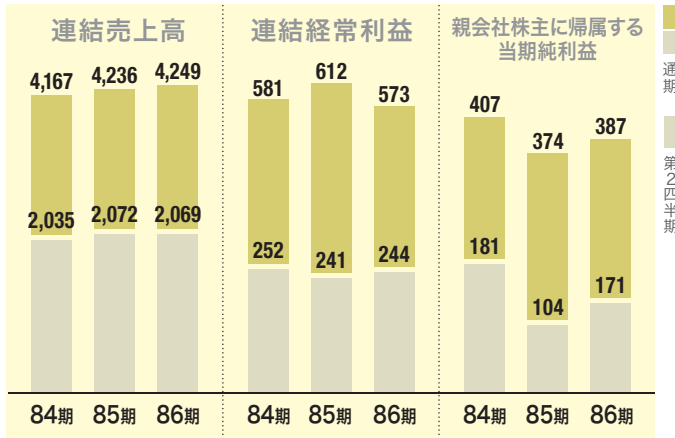
連結損益計算書

単位:百万円

科目	期別	前 期	当 期
		自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日	自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日
売上高		423,663	424,945
売上原価		278,632	277,740
売上総利益		145,030	147,204
販売費及び一般管理費		94,066	97,454
営業利益		50,964	49,749
営業外収益		10,992	8,599
営業外費用		717	950
経常利益		61,239	57,398
特別利益		43	1,384
特別損失		5,908	3,096
税金等調整前当期純利益		55,374	55,685
法人税等		17,668	17,036
当期純利益		37,705	38,649
非支配株主に帰属する当期純利益 又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)		289	△89
親会社株主に帰属する当期純利益		37,416	38,739

(△は減少)

単位：億円



通期
第2四半期

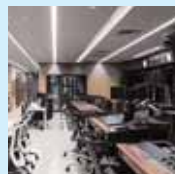
連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	期別	前 期	当 期
		自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日	自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		50,435	50,480
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 29,895	△ 40,976
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 9,325	△ 12,027
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 6	△ 4
現金及び現金同等物の増減額		11,207	△ 2,527
現金及び現金同等物の期首残高		37,028	48,292
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額		56	—
現金及び現金同等物の期末残高		48,292	45,764

(△は減少)

表紙について 2019年1月「日本テレビ番町スタジオ」稼働!!



「スタジオ外観」

「スタジオ」

「副調整室(サブコン)」

2019年1月、創業の地である千代田区二番町で「番町スタジオ」が稼働し始めました。これまで数々の看板番組を生み出した麹町スタジオのノウハウも引き継ぎ、最新の放送技術と建築技術を高いレベルで融合させたスタジオで、日本テレビのコンテンツ制作工場として中心的な役割を担います。最新の4K制作とHD制作を両立させる、新しい制作手法を実現出来るシステムを持ち、災害時における放送継続を可能にするBCP、省エネルギー対策も万全です。

この「番町スタジオ」から、これまで以上に魅力あふれる良質なコンテンツを発信してまいります。

ティップネス 新サービス続々! 高い付加価値でさらに進化!

フィットネスクラブを運営する(株)ティップネスは、新型店舗「日本橋スタイル」と「libéry(リベリー)」を東京・日本橋にオープンしました。

また24時間ジム「FASTGYM24」は13店舗増え、計96店舗※となりました。(※2019年3月末時点)総合型店舗ではリニューアルを順次実施し、会員様の満足度向上を図っています。



「女性専用
“Yogaコンディショニング”
サロン「libéry(リベリー)」
日本橋高島屋S.C.新館 4階
2018年9月オープン

株主様 ティップネス施設ご招待券 この機会にぜひご体験ください!

同封のご招待券をティップネス施設※1でご提示ください。通常3,240円※2の体験利用が無料に!

●バスタオル、フェイスタオル、Tシャツ、ショートパンツ、シューズをご用意して、お待ちしております。(そのほか水着等、有料レンタルのご用意もございます。)

ご利用の際は、ご招待券裏側のご案内を必ずお読みください。

※1 一部ご利用いただけない施設がございます。 ※2 「フィットネスクラブ ティップネス」の場合



ライフマーケティング 「全国うまいもの博」の「初試し!」一度お試しを!



「全国うまいもの博」ウェブサイトより
初回限定で超お得な商品をご用意!

「テレビ×EC」の新規事業に取り組んでいる日テレ・ライフマーケティング(株)は「全国うまいもの博」のECサイトをNNS系列局と共同展開中。日本中の「うまいもの」に加えて、日本最大級のサンプリングサイト「サンプル百貨店」とのコラボで、有名メーカーの飲料などが、市販の半額以下でお試し頂けます。

更に初回限定の「初試し!」では驚きの値段で商品をご提供。例えば、生そば6人前が、送料込みでなんと100円です! 通常3,000円はする「カチョカヴァアチーズ」も1,400円! ぜひ一度、クリックしてみてください。

全国うまいもの博 初試し

検索

<https://www.3ple.jp/feature/umahaku/umaimono/secret/>

8テレ
ARTTimeless
Mucha

Mucha la Manga - The Magic of Line

みんなの
ミュシャ

ミュシャからマンガへ — 線の魔術

株主様特別
ご招待のご案内

日本テレビでは2019年7月13日(土)〜9月29日(日)まで、Bunkamura ザ・ミュージアムにて「みんなのミュシャ」からマンガへ「線の魔術」を開催します。

「線の魔術」ともいえる華やかなポスターは、没後80年経った今なお、世界中の人たちを魅了し続けています。本展は、ミュシャが手がけたポスターなどのグラフィック作品はもとより、彼の作品に強い影響を受けた日本の明治期の文芸誌、1960年代を中心にアメリカ西海岸やロンドンで一大ムーブメントを巻き起こしたグラフィック・アート作品、そして、日本のマンガ家やグラフィック・アーティストの作品などおよそ250点を展示。作品を通じて、時代を超えて愛されるミュシャの秘密をひも解く、かつてない試みです。株主の皆様には是非ご覧いただきたいたく、ご案内申し上げます。

みんなの
ミュシャ

ミュシャからマンガへ — 線の魔術

2019 7.13 SAT » 9.29 SUN

【休館日】7月16日(火)、7月30日(火)、9月10日(火)

【開館時間】10:00-18:00(入館は17:30まで)

毎週金・土曜日は21:00まで(入館は20:30まで)

Bunkamura ザ・ミュージアム

【会場】Bunkamura、ミュシャ特設、日本テレビ放送網、各都府県、東京新聞社

【協賛】赤松和国大信託、チェココンター、チェコ放送協会

【協賛】文化経済、発行印刷、展覧ジャパン出版

【協力】日本放送、日本放送、OSDアム、ラジオ日本、TOKYO FM、文化放送、テレビ神奈川

【企画協力】NIPPON-RYU

Bunkamura

8テレ
ART30
ART美しい時代へ
東急グループ

